

川沿いの涼風と共に暮す いちき串木野の家

【設計者】 株式会社 建築工房 匠 福迫 健

鹿児島県鹿児島市星ヶ峯 1 丁目 40-16

TEL 099-264-2034

●住宅設計の趣旨および設計の特徴

東シナ海に面しすぐそばに五反田川、裏には山林と、自然に大変恵まれた敷地の今回の計画のコンセプトは「家にいながら外にいる。外にいるのに家にいるような」「室内と室外の一体感」であった。これは木陰でゆっくりする時間が好きだという住まい手との対話から浮かび上がった。今回の設計では自然風をいかに取り込むかが最大のテーマであった。7月末に完成見学会を実施した際は、大変爽やかなエアコンいらずの涼風が室内を吹きぬけ、見学客にも住まい手にも大好評であった。

毎年気温上昇が叫ばれ省エネルギーが求められる昨今、地域密着・地材地建の工務店として自立循環型住宅をもっと勉強し、その地域にあった家づくりを工夫していきたい。

●住まい手のコメント

鹿児島は暑いけれど、自分たちはエアコンはあまり好きではありません。だから出来るだけ自然に風通しの良い家だったら良いと思っていました。今日(8/10)引越しの日です。

展示会の時と引越しの時に家族と少しだけ新居で過ごしましたが、子供達が元気な内の中と外で遊んでいるのを見ると、大変嬉しくなりました。全て鹿児島の木材で、木を伐採する現場を見学したり、県内で初めてのCO2 認証書を頂いたりもしました。妻もオリジナル製作のオーダーキッチンが大変気に入っています。今まで住んだアパートとよりもっと楽しい生活が出来そうです。作り手の皆様には、もっともっと努力してお客様に喜ばれる家を造り続けて下さい。

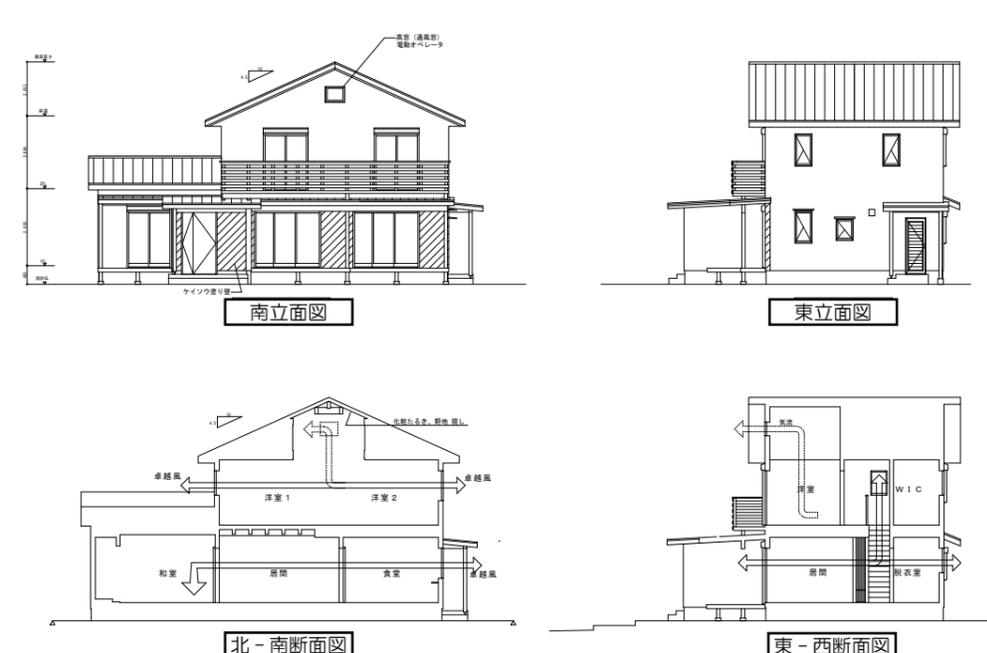
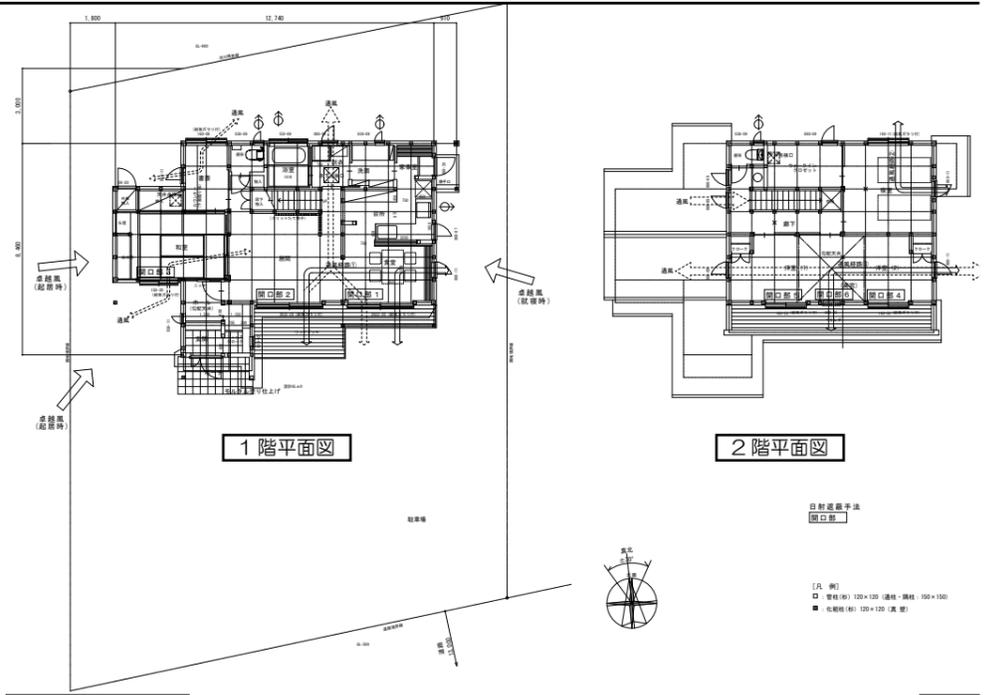
●作り手のコメント

「環境に良い家づくりは、地域の木材を使うことである」がスタートであった。しかし、設計を詰めていくと共に自立循環型住宅の設計を勉強し、建物に取り入れていった事により、より自然に自然エネルギーを取り入れ、より環境にやさしい家づくりが実現できるのだと確信した1棟だった。自然風の取り込みについては満点以上の評価だった。

●住宅のスペック

- 竣工年：2011年7月19日
- 面積
 - ・敷地面積：416.0 (㎡)
 - ・建築面積：95.96 (㎡)
 - ・延べ床面積：130.74 (㎡)
- 構造：木造
- 家族構成：夫婦、子供2人
- 次世代省エネ基準地域区分：V地域
- 自立循環型住宅の設計要件

- (1) 自然エネルギー利用の可能性
 - ・自然風の利用：容易
 - ・太陽光の利用：容易
 - ・太陽熱の利用：容易
 - ・総合的な立地のポテンシャル：郊外型立地
- (2) ライフスタイルの指向
 - ・自然へのこだわり度：高い
 - ・不快感を排除した安定した室内環境へのこだわり度：高い
- (3) 自立循環型住宅の目標像
 - ・伝統的自然生活指向(自然にこだわる)



「自立循環型住宅への設計ガイドライン」による省エネルギー効果の評価
(蒸暑地 V 地域 部分間欠暖冷房の場合)

用途	算定式	設計値	基準値	削減率
冷房	$5.7 \times (①0.88 \times ②0.7 \times ③0.75)$	2.63GJ	5.7 GJ	53.8%
暖房	$5.0 \times (④0.7 \times ⑤1.0 \times ⑥0.85)$	2.97GJ	5.0 GJ	40.6%
換気	$3.1 \times ⑦$ (ダクト式) $1.0 \times ⑦0.8$ (壁付け式)	0.8GJ	3.1 GJ (1.0GJ)	20.0%
給湯	$19.2 \times ⑧$ (太陽熱給湯) $19.2 \times ⑨0.9$ (太陽熱給湯でない)	17.28GJ	19.2 GJ	10.0%
照明	$11.3 \times (⑩0.9 \times ⑪1.0)$	10.17GJ	11.3 GJ	10.0%
家電	$19.9 \times ⑫1.0$	19.9GJ	19.9 GJ	0.0%
その他(調理)*	4.4×1.0	4.4GJ	4.4 GJ	0.0%

電力(削減量)	太陽電池による発電量			
	□0.0GJ □32.7GJ □43.6GJ			
総計		58.1GJ	68.6GJ (66.5GJ)	12.6%

【要素技術とエネルギー消費率】

- ① 自然風の利用 0.88
 - ② 日射遮蔽手法 0.7
 - ③ 冷房設備計画 0.75
 - ④ 断熱外皮計画 0.7
 - ⑤ 日射熱利用 -
 - ⑥ 暖房設備計画 0.85
 - ⑦ 換気設備計画 0.8
 - ⑧ 太陽熱給湯 -
 - ⑨ 給湯設備計画 0.9
 - ⑩ 昼光利用 0.9
 - ⑪ 照明設備計画 -
 - ⑫ 高効率家電機器の導入 1.0
- 太陽電池の発電量 _____ GJ 削減



外観：杉8寸角の大黒柱、県産杉の建具、杉無垢の床板、漆喰塗りの壁



キッチン。居間と食堂の間付近から。ヒノキで造ったオリジナルキッチンとその背後に食器棚



階段。階段を見上げる。時間帯によっては階段上の窓から風が吹込む。



洗面。洗面を始め全ての非居室(物入類除く)に1面開口。



リビング。掃出しサッシ付近から書斎を見る。視線が外まで抜けている